２５年度指定管理者運営状況検証シート

県所管課	農林水産部森林局森林整備課

1. 施設名等

平成25年3月31日現在

施設名 （設置年月日）	えひめ森林公園 （昭和59年7月）	所在地 電話 HP	〒799－3104 伊予市上三谷 089-983-3069 http://www.aimori.jp/park/index.html

2. 指定管理者

指定管理者名	愛媛県森林組合連合会	指定期間	平成22年4月1日　～　平成26年3月31日	（4年間）

3. 施設の概要と指定管理者が行う業務等

設置目的	県民の森林に対する理解を深めるとともに、その保健及び休養に資する。	施設の外観
施設内容	森林学習展示館、フィールドアスレチック、キャンプ場（20サイト）、実習用苗畑、県民参加の森、樹木園、山菜栽培園、きのこ栽培園、昆虫観察飼育施設、自然観察道、駐車場（158台）	
指定管理者が行う業務	・森林公園の業務の実施に関すること。 ・森林公園の利用の許可（「県民参加の森」以外の施設に限る。）に関すること。 ・森林公園の利用の促進に関すること。 ・森林公園の施設、附属設備及び備品（以下「施設等」という。）の維持管理に関すること。 ・その他知事が定める業務	
施設の管理体制	愛媛県森林組合連合会― えひめ森林公園管理事務所 園長 － 課長 ― 事務補助（正規1） ― 作業主任（嘱託2） ― 作業員（パート3）	
利用料金等	利用料金制　□ 採用している　☑ 採用していない	
	前年度からの変更　□ あり　☑ なし （変更ありの場合、その内容） ―	
開館日・開館時間	（開園日）年末年始（12／28～1／4）が休園、それ以外は開園（開園時間）9時～17時	

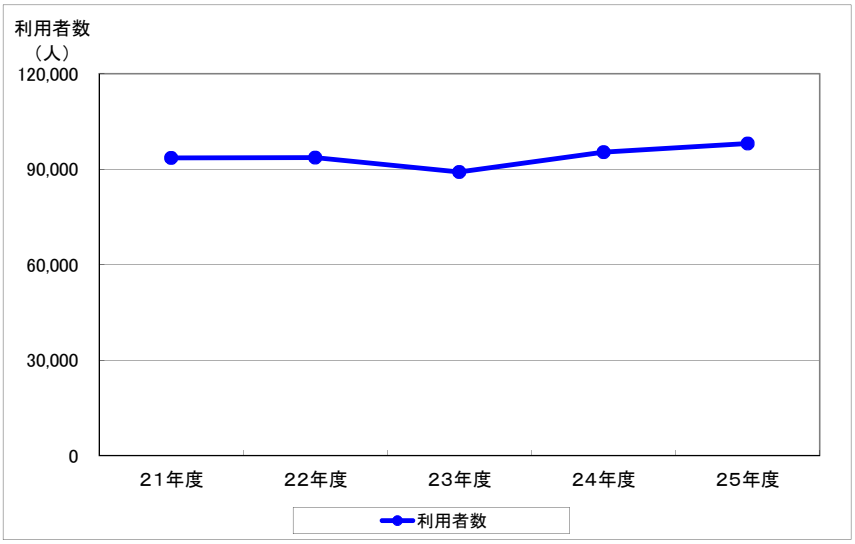
4. 指定管理業務に係る県の委託料（協定締結額）

年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
県委託料（千円）	22,663	22,663	22,663	22,663	22,663	23,239

5. 施設の利用状況

（1）施設の利用者数と利用料金収入

年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	対前年度増減率
利用者数(人)	93,590	93,674	89,153	95,396	98,071	2.8 %
利用料金収入(千円)	―	―	―	―	―	― %



（2）利用者数、利用料金収入の増減理由

対前年度増減率が±5%以上の場合、その理由
（利用者数） ―
（利用料金収入） ―

6. サービスの質向上に向けた取組み

ア）サービス向上を図る主な取組み

（○は指定管理者制度導入以降、継続的な取組み、☆は平成25年度の新たな取組み、※は利用者からの要望による取組み）

平成25年度の内容	平成26年度の内容（予定含む）
○自然観察会、自然体験フェスタ、木工教室、しいたけ植菌体験教室等のイベント開催 ○ボランティア等を主体にした清掃活動の推奨 ※キャンプ場利用期間の延長（ナイトキャンプ）	○HPの充実 ○木工教室、しいたけ植菌体験教室等のイベント開催 ○イベント情報の積極的な発信 ○フィールドアスレチックなど施設利用に関する情報提供の充実

イ）利用者からの声への25年度の対応状況

利用者からの評価や苦情・要望の主な内容	利用者からの苦情・要望への主な対応状況
・施設利用者からは、園内の施設利用が無料であることに加え、身近に自然に親しみ触れ合えることで、大変良い施設であると評価を得ている。	・施設利用者の口コミだけではなく、さらなるHPの充実、イベントの積極的開催などを行っていきます。

7. 25年度実績に係る施設の利用状況及びサービスの質向上に向けた取組みに関する確認・検証

指定管理者の自己検証	県の施設所管課の確認・検証意見
・キャンプ場をはじめとして、アスレチック等、園内を無料開放していることから、施設利用者の増加にもつながっている。 ・施設利用者からは、自然美溢れる大変良い施設であると言われており、管理者として施設等の良好な衛生環境美観の維持にも心がけていることから、口コミによる利用者増加にもつながっている。	・キャンプ場の利用期間を延長することで、利用者の増加につながっているが、今後とも利用者が安心して利用できるよう、夜間の保安対策等に力を入れてほしい。 ・引き続き、施設等の良好な衛生環境維持にもつとめていただきたい。 ・アスレチック安全点検における要修繕箇所について、適正に修繕されており、今後とも安心して来場できる施設として、積極的な取り組みを継続していただきたい。

8. 指定管理者制度の導入による効果と課題の検証

①施設の設置目的に則した運営について

県民に森林に対する理解を深めてもらうため、未来の森創造館などの各種施設の有効活用や自主事業をはじめとしたイベントの開催など、利用者ニーズを把握しながら円滑に運営されており、良好な施設管理がなされている。

②利用者数、利用料金収入について

制度導入後、定期的にイベントが開催されるなど、平成23年度の震災の影響を除けば、利用者数は年々増加しており、評価できる。

③サービスについて

利用者アンケートを実施し、要望等を参考に順次改善を行っており、サービス向上に努めている。

④コスト削減について

自前のボランティアを活用するなど、人件費の抑制に努めている。

今後もできる限りのコスト削減に努めていただきたい。

⑤その他（広報活動等）

ホームページ、パンフレット等の充実を図り、森林公園の施設やイベント開催等に関する情報発信を行うとともに、近隣小中学校やボランティア団体へ積極的に誘致を行うなど、利用率の向上に努めている。

今後もより一層利用促進が図られるよう期待する。